

こじょうライブラリー

「へー そうか」

ここは鯉城の図書室。入室、東の奥へ。窓の外は緑豊かな白川公園、遠くに中日ビル建設のクレーンが見える。窓の右の棚、一番上にシリーズ34巻がある。殆ど読まれていないピカピカの本です。

私は来室時いつもここへ直行、私にとって大事な本棚になりました。シリーズでのタイトルは、「その時歴史が動いた」です。初の入室でパラパラと捲ると目に止まったのが「ジャンヌダルク」です！彼女の悲惨な最期を知りました。これが読む動機です。

このシリーズは巻毎に数件の内外国の出来事、人物つまり歴史の解説があり、NHKのTVで放送された活字版です。キャスターの穏和な語りや四角顔の松平定和さんを思い出します。

「ジャンヌダルク」といえば勇ましく民衆の先頭に立つ絵しか知りません。恥ずかしながら全くの無知蒙昧。15世紀の英仏100年戦争で16才の乙女は救国の神の御告

げを受け、民衆と共に侵略する英軍と戦う、が国の支援もなく最後には逆に異教者として19才で囚われ、「火あぶり」の刑となってしまいました。・・・もう啞然です。

思ってもいない結末に驚きです。神は19才のダルクを見棄てたのか、時代の流れなのか・・・。「へー そうか」と納得するのみです。その後フランスは仏革命（マリ

ーアントワネット、ルイ王政） → ナポレオン → 王政崩壊と歴史が繋がっていったのでしょうか。

ナポレオンの最後は御存知ですか？ 他の巻でも幾度か「へー そうか」を知り次の巻を読む気力に繋がっています。あと四巻。暫くは目当ての棚へ直行。

まとめ、下手な川柳で・・・。「へー そうか」友と酒酌む酒肴
図書室の係りの方々、これからも宜しくお願ひします。

【37期生活専攻／川合日出男】

※本や読書にまつわる投稿を700字程度でお寄せください。詳しくは事務室まで
なお、本の寄贈については現在受け付けておりませんので、ご了承ください。